

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
120111024	ライフスタイル学基礎講座 Introduction of Life Style Studies	龍田・今泉・小野・生川・山口・丹羽・平岩・片岡			2	必修	1前期

科目の概要

ライフスタイル学科では、Quality of Life の向上を実践的に科学する態度、生活を見つめ「生きる」ことの意味を探究する姿勢を、学びの根本に据えている。これらを基点に、これからの社会の新しいライフスタイルを提案できる人となることを目指す。

この授業では、大学生活を充実したものとするために何が必要かを考える。ライフスタイル学科のすべての先生からレクチャーを受ける。様々な分野を専門とするそれぞれの先生から、学ぶことの面白さを受け取ってもらいたい。(DP 3)

職場・地域・国際社会の課題を解決するためにも、本学の建学の精神の実践と、社会人基礎力・pisa型学力・直観力・自然体を総合的に身に着ける大切さに、気付いてもらいたい。(DP 1, 2, 5, 7)

学修内容	到達目標
① 大学での学びと、将来に向けての社会人基礎力の必要性を理解する。 ② 各教員の専門分野に関するレクチャーから、ライフスタイル学科での学修内容を知る。 ③ 各週の授業内容にあわせたレポートなどの課題を作成する。	① 自分自身を客観的に見る目をもち、大学生活の学びの見通しが立てられる。 ② ライフスタイル学科ではどのようなことを学ぶのか、そのために何が必要かを、自分なりに考えることができる。 ③ 各週の内容を理解し、問題点を指摘し、簡潔な言葉で表現できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	事前に提示された授業内容や配布資料をもとに、文献を調べて、自分で学修ができる。
	働きかけ力	
	実行力	教員からの指示に従うだけでなく、より高い目標を設定し、学修に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	授業を通して、高校までの学びと大学での学びの違いを理解し、大学4年間の学修の目標を見つけることができる。
	計画力	
	創造力	複数の観点を総合しながら、大学での学修の仕方について考えることができる。
チームで働く力	発信力	学修した内容に自分の見解を加味しつつ、的確な文章で表現することができる。
	傾聴力	意見交換の場面で、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、授業中の居眠りや私語など、授業に支障をきたす行為を慎み、円滑な授業運営に協力できる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。必要な資料は各回の担当教員より配布される。
 資料はGoogle Classroomにて提示する。

参考書：各回の担当教員が授業内で適宜紹介していく。

他科目との関連、資格との関連

専門科目のライフスタイル学基幹科目群の科目である。
 ライフスタイル学科で開講するすべての科目の出発点と見做すことができる科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
ライフスタイル学科所属の全教員がオムニバス形式でそれぞれの専門領域と関係づけながら授業を展開する。担当者および授業テーマによって進行方法は異なるが、基本的にテキストを用いた講義と講義内容に関係したワークにより構成される。	・毎週レポート等の課題が提示される。授業をよく聴き、課題に取り組む。 ・6週以上の欠席は科目放棄として扱う。遅刻・早退は20分未満とし、3週で欠席1週分とする。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	90	①	✓			各週に出されたレポートなどの課題が適切な解答となっている。 ※課題の評価基準については各回の担当教員より示される。 ※資料の提示、課題提出はGoogle Classroomを通して行う。 獲得：ライフスタイル学科が目指していること、先生方がライフスタイル学科で大切にしていること(80%)。 活用：ライフスタイル学科で目指すことを考える(10%)。 解決：これからの1年間に目指すことを決める(10%)。
				②	✓			
				③	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
				②				
				③				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			前ページの「学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例」が、それぞれ90%以上行われていればS、80%以上行われていればA、70%以上行われていればB、60%以上行われていればCとする。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
上の「評価方法」に従い、90%以上行われていればS（秀）、80%以上行われていればA（優）とします。	上の「評価方法」に従い、70%以上行われていればB（良）、60%以上行われていればC（可）とします。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	担当：龍田 30秒自己紹介。 大学で体験したいこ と、卒業するために必 要なこと。 学内回遊調査の準備。	講義 ペアワーク プレゼン	30秒で、あなたの名前 の文字を人に話せる。 これから体験したいこ とを書き出せる。 クラスメイトに話せ る。 発表できる。	(予習) 事前に配布し たワークシートに、大 学で行いたいことを書 いてくる。 (復習) 授業内に提示 される課題を行い、期 日までに提出する。	120	主体性 実行力 課題発 見力 発信力 傾聴力 規律性
2	担当：龍田 学内回遊調査 4～5名でグループとな り、キャンパス内を回 遊する。	回遊調査	感じた事、考えた事 を、常にメモできる。	(予習) キャンパスラ イフの指定されたペー ジを確認する。 (復習) 回遊調査の整 理とまとめをします。	180	主体性 実行力 課題発 見力 発信力 傾聴力 規律性
3	担当：龍田 学内回遊調査報告 担当を決めて、一人ず つ回遊調査の報告をす る。	講義 グループワーク プレゼン	グループ内で、あなた が感じた事を話せる。 メンバーが感じたこと を聴き、場合によって 自分の意見に追加でき る。 全員の前で発表でき る。	(予習) 事前に出され る課題を行う。 (復習) 報告で良かつ たこと、残念だったこ とをまとめ、期日まで に提出する。	180	主体性 課題発 見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
4	担当：龍田 図書館ツアー	講義 実習	大学図書館の利用方 法、資料の検索方法が 理解できた。 興味のある本を借りる ことができる。	(予習) キャンパスラ イフの指定されたページを確認 する。 (復習) 図書館から借りた 本の「まえがき」「目次」 「あとがき」を読み、書か れているであろう内容を ワークシートに書き、期日 までに提出する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	担当：龍田 暮らしの中の音の記事を読む(1) 日頃、耳にする音を題材にし て、記事の読み方、楽しみ方、 人に話すときに気を付けたいこ とを一緒に考える。音を感じる ワーク「音とは何かを考える・ 知る」。4人で1グループにな り、別々の記事を読む。次週、 読んだ記事をメンバーに紹介す る。	講義、演習、グループ ワーク	授業時間の質問とその 回答をシートに書い た。 分担する記事を受け取 り、指示に従った。	(予習) シラバスを読 み、今週行うことを確 認する。音とは何かを 調べる。 (復習) 授業時間に提 示された復習課題を行 う。	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性
6	担当：龍田 暮らしの中の音の記事を読む(2) 音を感じるワーク「人の耳の役 割を考える・知る」。同じ記事 を読んだクラスメイトと集ま り、記事の内容、伝えたいこ と、登場する音とその役割を発 表し合う。他の人の発表も参考 にして、読んでいないメンバー に話す原稿を作る。	講義、演習、グループ ワーク	授業中の質問とその回 答をシートに書いた。 同じ記事を読んだクラ スメイト同士で、記事 の内容を紹介し合っ た。読んでいないメン バー用に紹介する原稿 を書いた。	(予習) 先週分担した 記事を丁寧に読む。記 事の内容、伝えたいこ と、登場する音とその 役割をワークシートに 書く。 (復習) 授業時間に提 示された復習課題を行 う。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	担当：龍田 暮らしの中の音の記事を読む(3) 記事を読んでいないメンバ ーに、記事を紹介する。テーマ にした音の効果を話し合う。特 に記事を人に紹介する時に、気 を付けたいことを書き出し、整 理する。記事を紹介する原稿を書 き直す。Google Classroomに アップロードして、クラスメイ トや先生方に読んでもらって、 アドバイスをいただく。	講義、演習、グループ ワーク	読んできた記事を、読 んでいないメンバーに 紹介した。事前に原稿 を作った。 グループ内で、良かつ たこと、より良くする ために必要なことなど を話し合った。	(予習) 担当の記事を 読み、登場する音、そ の音と暮らしとのつな がり、記事が伝えよう としていることをまと める。 (復習) ??	270	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	担当：龍田 (オンライ ン) 暮らしの中の音の記事を 読む(4) クラスメイト全員の紹介 文を読む。良かったこ と、より良くするために 必要と思ったことを、 フィードバックする。	Google Classroomに、 紹介文をアップロー ド。読み合って、感想 をフィードバックす る。記事を読んでみた くなった紹介文を選 ぶ、誉める。	指示に従って、全員の 紹介文を読んだ。記事 を読みたくなった紹介 文を選んだ。	(予習) 指示に従い、 紹介を書き直す。期限 までに提出する。 (復習) フィードバッ クをしっかり読む。最 も気になったフィード バックを、指示に従い 期限までに提出する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	担当：平岩 「針山」を作ろう 基本的な手縫いの手法で、後期からのファッション造形実習Ⅰで使用する針山を製作する	講義 実習	基本的な手縫いの手法（並縫い・返し縫い）ができる。	（予習）小中高で使用した裁縫道具箱の中身を確認して持参する （復習）授業内で提示された課題を期日までに完成して提出する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力
10	担当：小野 自分の将来をキャリアデザインしてみよう	講義	4年後を見据えた自分の職業や職種についてどんなことが考えられるか。現時点で就いてみたい職業や職種について基本的な知識や情報を準備しておくことができる。	・教職や公務員を目指したい人 （予習）愛知県との他府県も受検する人「求める教員像」はどんな内容か？ （復習）採用試験は「いつ・どこで・どんな内容」なのか期日までに提出する。 ・一般企業を目指したい人 （予習）就職してみたい企業の「理念・モットー」を調べておく。 （復習）働きたい企業で自分のどの様な事が活かせるか考え、期日までに提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
11	担当：今泉 思考ツールについて学ぼう	講義 実習	ライフスタイルに関連する課題解決に向けてアイディアを出し、分類しまとめることができる。	（予習）事前に配布された資料を読み内容を理解しておく。不明な点があれば調べておく。 （復習）授業内で提示された課題を期日までに提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	担当：山口 LGBTQについて理解しよう	講義 ディスカッション	LGBTQに関する基礎的知識（法律を含む）を取得する。	（予習）事前に配布された資料を読み、不明な点を明確にしておく。 （復習）授業内で提示された課題を期日までに提出する。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 柔軟性 状況把握力
13	担当：生川 身近な食に関する問題について考えよう	講義 ディスカッション	食に関する情報を自ら獲得し、自分なりにまとめることができる。	（予習）事前に配布された資料を読み、不明な点を明確にしておく。 （復習）授業内で提示された課題を期日までに提出する。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14					180	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	担当：丹羽 見ること／分かったこと	プレゼンテーション講評 レクチャー	条件に従い、提示された事前課題を作成・提出できる。 プレゼンテーション（他学生の作品）とレクチャーの内容に対する自身の考えをまとめ、提出することができる。	（予習）事前に提示された課題を作成・提出する。 （復習）授業内で提示された課題を期日までに提出する。	180	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力